



平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年5月20日

上場会社名 岩塚製菓株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 2221 URL http://www.iwatsukaseika.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎 春夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 郷 芳夫 TEL 0258-92-4111  
 定時株主総会開催予定日 平成25年6月25日 配当支払開始予定日 平成25年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 平成25年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無： 無  
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期の連結業績（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	20,586	△4.5	141	—	1,338	123.2	760	389.0
24年3月期	21,547	0.8	△446	—	599	△34.4	155	△58.4

(注) 包括利益 25年3月期 21,739百万円 (69.8%) 24年3月期 12,805百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
25年3月期	132.23	—	1.3	1.5	0.7
24年3月期	26.99	—	0.4	0.9	△2.1

(参考) 持分法投資損益 25年3月期 1百万円 24年3月期 8百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期	103,576	67,336	65.0	11,718.34
24年3月期	72,125	45,703	63.4	7,939.76

(参考) 自己資本 25年3月期 67,336百万円 24年3月期 45,703百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年3月期	2,291	△220	△2,067	355
24年3月期	966	△1,462	402	352

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00	74	48.2	0.2
25年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00	74	9.8	0.1
26年3月期 (予想)	—	0.00	—	13.00	13.00		8.8	

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	10,000	3.2	60	—	1,260	298.4	650	407.8	113.12
通期	21,300	3.5	400	182.8	1,600	19.5	850	11.8	147.92

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 有  
 ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 13「3. 連結財務諸表 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期	5,995,000株	24年3月期	5,995,000株
② 期末自己株式数	25年3月期	248,749株	24年3月期	238,669株
③ 期中平均株式数	25年3月期	5,747,750株	24年3月期	5,759,072株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成25年3月期の個別業績 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	19,345	△4.0	78	—	1,290	104.0	749	—
24年3月期	20,147	1.3	△415	—	632	△35.9	38	△88.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期	130.35	—
24年3月期	6.66	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期	102,937	66,946	65.0	11,650.50
24年3月期	71,479	45,324	63.4	7,873.91

(参考) 自己資本 25年3月期 66,946百万円 24年3月期 45,324百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

・この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績・財政状態に関する分析 (1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
(4) 事業等のリスク .....	4
2. 経営方針 .....	5
(1) 会社の経営の基本方針 .....	5
(2) 目標とする経営指標 .....	5
(3) 中長期的な会社の経営戦略 .....	5
(4) 会社の対処すべき課題 .....	5
(5) その他、会社の経営上重要な事項 .....	5
3. 連結財務諸表 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14
4. その他 .....	15
(1) 役員の変動 .....	15
(2) その他 .....	15

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

### (1) 経営成績に関する分析

#### ①当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国の経済は、東日本大震災後の厳しい経済環境からの復興需要と、経済対策の効果から緩やかな景気回復はみられたものの、海外経済の不確実性は依然として高く、先行き不透明な状況が続きました。

米菓業界におきましては、コンビニエンスストアやドラッグストアなど、業態を超えた低価格競争が激化し、スーパーマーケットの競合や夏の猛暑による購買意欲の低下など、米菓市場全体が伸び悩みました。

このような経済状況の中、当社グループは『品質訴求』、『ムダ・むだ・無駄の排除』、『お客様目線』の3つの宣言に基づき国産米100%へのこだわりと、お客様のニーズに合わせたサイズの「高品質・適量」シリーズを発売し売上の拡大に努めてまいりました。

また、震災復興を支援する「明日へつなごうプロジェクト」の第2弾として、福島県南相馬市の小学生とのコラボ商品「バタしょっと」を期間限定で2月に発売するなど、様々な商品政策に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は205億86百万円（前連結会計年度比4.5%減）となりました。

利益面につきましては、低価格競争と一線を画したことにより販売費を削減したこと、また、子会社を含めたグループ全体の商品点数を大幅に削減したことにより生産性が向上し、労務費が低減できたこと、歩留まりの向上に全社で取り組んだことにより営業利益は1億41百万円（前連結会計年度は4億46百万円の営業損失）、経常利益は13億38百万円（前連結会計年度比123.2%増）、当期純利益は7億60百万円（前連結会計年度比389.0%増）となりました。

#### ②次期の見通し

次期の見通しにつきましては、政府の経済政策への期待感から株高・円安に進行しており、輸出産業を中心に景気回復の兆しが見られるが、一方で原油価格の高騰や原材料を輸入に依存する業界では逆風の要因もあり、先行きは依然として不透明な状況が予想されます。

このような状況の中で、確固たる利益体質の構築を図るため、「自信」と「誇り」をもって美味しさと笑顔の輪を広げて行くことを使命に、激変する経営環境に対応するとともに、新しい価値創造に挑戦し、更なる企業価値の向上に向けて、全グループ会社一丸となって取り組んでまいります。

次期の連結業績につきましては、売上高213億円、営業利益4億円、経常利益16億円、当期純利益8億50百万円を見込んでおります。

なお、経常利益につきましては、当社が株式を保有するWant Want China Holdings Limited. からの株式配当金をおよそ12億円見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債、純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は1,035億76百万円となり、前連結会計年度末と比較して314億51百万円の増加となりました。

流動資産は48億67百万円で前連結会計年度末と比較して4億13百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金並びに原材料及び貯蔵品の減少によるものであります。固定資産は987億8百万円となり前連結会計年度末と比較して318億65百万円の増加となりました。これは主に、時価評価により投資有価証券が増加したこと等によるものであります。

当連結会計年度末における負債合計は362億40百万円となり、前連結会計年度末と比較して98億18百万円の増加となりました。

流動負債は45億29百万円で前連結会計年度末と比較して12億50百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金が増加したこと等によるものであります。固定負債は317億10百万円となり前連結会計年度末と比較して110億69百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価に伴い繰延税金負債が増加したこと等によるものであります。

純資産は、その他有価証券評価差額金が増加したこと等により、673億36百万円（前連結会計年度末457億3百万円）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首残高より3百万円増加し、3億55百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は22億91百万円（前年同期は9億66百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益12億82百万円及び減価償却費9億6百万円を反映したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2億20百万円（前年同期は14億62百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億18百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は20億67百万円（前年同期は4億2百万円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額15億50百万円を計上したこと及び長期借入金の返済による支出4億円を反映したこと等によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
自己資本比率（%）	61.9	59.9	60.1	63.4	65.0
時価ベースの自己資本比率（%）	22.8	24.9	30.7	25.5	25.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	—	3.3	3.8	4.7	1.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	—	32.8	29.9	42.2	110.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

（注4）営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業キャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

（注5）平成21年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオにつきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載を省略しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主に対する利益還元を経営の最重要政策の一つとして位置づけております。

米菓業界における熾烈な企業間競争の中にあつて、常に新技術の開発と生産性の向上を目指し、競争力を一層高めるとともに、業績に裏付けられた成果の配分を基本方針としております。

当期の配当につきましては、1株当たり13円の普通配当とし、平成25年6月に開催予定の第60回定時株主総会に付議することといたします。

次期の配当につきましては、1株当たり普通配当13円（うち中間配当0円）を予定しております。

また、内部留保資金につきましては、安定的な企業の成長を図るため、設備投資、研究開発、企業体質・財務体質の強化に充当し、継続的な事業の拡大と収益の向上を通じて株主の期待に応えるべく、努めてまいります。

(4) 事業等のリスク

当社グループの経営成績、財政状態及び株価等に影響を及ぼす可能性のある事項には、以下のようなものがあります。

①食品の安全性について

近年、食品業界におきましては、産地偽装問題、残留農薬問題及び遺伝子組み換え問題など食品に関する問題が発生しております。

当社グループでは、必要に応じ随時各種検査を実施するなど、品質管理には万全な体制をとっておりますが、今後におきまして、当社グループの品質問題のみならず、社会全般におよぼす品質問題が発生した場合、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。

②売上債権について

当社グループは、債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額については、貸倒引当金を計上しております。

しかし、顧客の財務状態の悪化などにより支払能力が低下した場合、追加での費用支出が起る可能性があります。

③自然災害について

地震、風水害、火災による災害等が発生した場合、工場の設備等が大きな被害を受け、その一部又は全部の操業が中断し、生産及び出荷が遅延する可能性があります。また、営業所等の施設や情報システムに損害が生じ、営業活動や仕入、物流に支障が生じた場合、業績に悪影響が及ぶ可能性があります。

## 2. 経営方針

### (1) 会社の経営の基本方針

当社の経営理念として、「我々は会社の事業を通じて、社会の人々に喜びと豊かさを提供し、その見返りとして、この事業に携わるものとその関係者の豊かな生活と社会的地位の向上を図り、併せて地域社会の経済的發展に貢献せんとするものである。」を掲げ、この理念に沿って、お客様に安全で安心できる価値ある商品とサービスを提供するとともに、米菓を通じて人々に心の豊かさを提供することを使命としております。

### (2) 目標とする経営指標

当社グループは、安定的な収益を確保するとともに、CSR（企業の社会的責任）を向上させ、お客様の信頼に応え、美味しさの感動をお届けし続ける企業であることを使命と考えております。

経営指標につきましては、売上高営業利益率3%を目標と考えており、その実現のために、売上増加はもちろんのこと、収益性及び安定性にも配慮した成長を図りたいと考えております。

### (3) 中長期的な会社の経営戦略

米菓総合メーカーとして、お客様のニーズにお応えした商品開発を進め、更なる品質の向上と生産効率の改善に努めてまいります。

また、安定的な企業成長を目指し、当社グループ全体の経営体質の強化・改善に取組み、競争力及び収益力を高めてまいります。

### (4) 会社の対処すべき課題

日本を取り巻く経営環境は激変しており、アベノミクス政策での大胆な金融緩和による円安は、輸出産業の追風となっている一方で、原材料の多くを輸入に依存する食品産業においては逆風となっております。

また、その先には消費税の増税が控えていることから、消費の低迷を招くことも懸念されております。

小売業界では、経営統合が加速する反面、コンビニエンスストアやドラッグストア等では、出店の加速、生鮮食品等の取り扱いが増加し、さらには、インターネット等による食品の無店舗販売の増加など、市場は急激に変化しております。

これらのことにより、小売業、卸売業はもちろんのこと菓子食品製造業におきましても、ますます競争が激しくなることが想定されます。

このような中、当社はPDCAサイクルを回し、トータル原価の低減を図ってまいります。

また、主力商品の単品ブランド認識向上のための積極的なブランディングを引き続き展開し、「岩塚ブランド＝最高品質」の信頼を確立するとともに、お客様のニーズや食シーンにきめ細かく対応した商品の充実を図ってまいります。

### (5) その他、会社の経営上重要な事項

当社株式等に対する大規模買付行為への対応方針（買収防衛策）の更新について

当社は、平成22年6月24日開催の当社第57回定時株主総会において株主の皆様からの承認を受け、同日より「当社株式等に対する大規模買付行為への対応方針（買収防衛策）」（以下「本対応方針」といいます。）を更新しておりますが、その有効期間は平成25（2013）年6月開催予定の当社定時株主総会終結の時までとなっております。

当社は、本日（平成25年5月20日）開催の当社取締役会において、「当社株式等に対する大規模買付行為への対応方針（買収防衛策）の更新」について決定し、本定時株主総会における株主の皆様のご承認を条件に、旧対応方針を一部見直した上で、更新することを決定いたしました。

本対応方針につきましては、社外監査役2名を含む当社監査役3名全員はいずれも、本対応方針の具体的運用が適正に行われることを条件として、本対応方針に賛成する旨の意見を述べております。

なお、当社は本日現在、当社株式の大規模な買付等にかかる提案等を一切受けておりません。

上記内容の詳細につきましては、開示資料を次のURLからご覧いただくことができます。

（当社ホームページ）

[http://www.iwatsukaseika.co.jp/company/stockholder/release\\_2010.shtml](http://www.iwatsukaseika.co.jp/company/stockholder/release_2010.shtml)

[http://www.iwatsukaseika.co.jp/company/stockholder/release\\_2013.shtml](http://www.iwatsukaseika.co.jp/company/stockholder/release_2013.shtml)

3. 連結財務諸表  
(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	359,023	363,277
受取手形及び売掛金	3,600,662	3,413,878
有価証券	69,439	74,880
商品及び製品	76,114	156,124
仕掛品	82,544	94,468
原材料及び貯蔵品	516,274	379,784
前払費用	58,627	31,957
繰延税金資産	218,260	260,033
その他	303,800	95,361
貸倒引当金	△3,040	△1,799
流動資産合計	5,281,706	4,867,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,147,959	11,222,422
減価償却累計額	△6,708,518	△7,037,270
建物及び構築物（純額）	4,439,441	4,185,152
機械装置及び運搬具	8,257,658	7,980,569
減価償却累計額	△6,266,641	△6,412,761
機械装置及び運搬具（純額）	1,991,016	1,567,807
土地	870,834	870,834
リース資産	249,468	269,989
減価償却累計額	△94,629	△144,023
リース資産（純額）	154,839	125,966
建設仮勘定	2,742	48,284
その他	319,473	332,534
減価償却累計額	△265,115	△277,966
その他（純額）	54,357	54,568
有形固定資産合計	7,513,231	6,852,613
無形固定資産	110,037	120,722
投資その他の資産		
投資有価証券	58,993,738	91,443,079
従業員に対する長期貸付金	5,651	3,075
長期前払費用	4,038	47,107
繰延税金資産	21,179	2,640
その他	221,350	266,946
貸倒引当金	△25,679	△27,222
投資その他の資産合計	59,220,278	91,735,625
固定資産合計	66,843,547	98,708,961
資産合計	72,125,254	103,576,928

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	779,033	637,656
短期借入金	2,950,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
未払費用	862,064	740,334
未払法人税等	23,702	466,707
未払消費税等	7,735	107,050
賞与引当金	235,928	285,417
その他	521,659	492,375
流動負債合計	5,780,122	4,529,542
固定負債		
長期借入金	1,200,000	800,000
繰延税金負債	18,139,426	29,619,965
退職給付引当金	916,150	930,785
持分法適用に伴う負債	86,359	85,233
その他	299,321	274,851
固定負債合計	20,641,257	31,710,835
負債合計	26,421,379	36,240,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,634,750	1,634,750
資本剰余金	1,859,250	1,859,250
利益剰余金	6,532,496	7,217,665
自己株式	△425,735	△457,265
株主資本合計	9,600,760	10,254,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,103,113	57,082,150
その他の包括利益累計額合計	36,103,113	57,082,150
純資産合計	45,703,874	67,336,550
負債純資産合計	72,125,254	103,576,928

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	21,547,377	20,586,527
売上原価	13,723,685	13,000,491
売上総利益	7,823,692	7,586,036
販売費及び一般管理費	8,270,454	7,444,589
営業利益又は営業損失(△)	△446,762	141,446
営業外収益		
受取利息	17,252	369
受取配当金	940,009	1,083,300
持分法による投資利益	8,998	1,125
その他	145,586	161,922
営業外収益合計	1,111,846	1,246,717
営業外費用		
支払利息	22,956	20,788
有価証券評価損	4,125	—
その他	38,144	28,544
営業外費用合計	65,227	49,333
経常利益	599,856	1,338,830
特別利益		
固定資産売却益	—	9,153
投資有価証券売却益	—	1,716
関係会社株式売却益	47,856	—
特別利益合計	47,856	10,869
特別損失		
固定資産売却損	—	11
固定資産除却損	6,338	17,545
投資有価証券評価損	44,934	20,586
為替換算調整勘定取崩額	36,783	—
ゴルフ会員権評価損	550	—
リース解約損	222	1,373
災害による損失	—	28,033
特別損失合計	88,828	67,550
税金等調整前当期純利益	558,884	1,282,149
法人税、住民税及び事業税	86,159	551,045
法人税等調整額	321,502	△28,896
法人税等合計	407,662	522,148
少数株主損益調整前当期純利益	151,222	760,001
少数株主損失(△)	△4,207	—
当期純利益	155,429	760,001

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	151,222	760,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,623,175	20,979,037
為替換算調整勘定	30,767	—
その他の包括利益合計	12,653,943	20,979,037
包括利益	12,805,165	21,739,038
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	12,805,731	21,739,038
少数株主に係る包括利益	△566	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>		
当期首残高	1,634,750	1,634,750
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	1,634,750	1,634,750
<b>資本剰余金</b>		
当期首残高	1,859,250	1,859,250
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	1,859,250	1,859,250
<b>利益剰余金</b>		
当期首残高	6,452,160	6,532,496
当期変動額		
剰余金の配当	△75,093	△74,832
当期純利益	155,429	760,001
当期変動額合計	80,335	685,168
当期末残高	6,532,496	7,217,665
<b>自己株式</b>		
当期首残高	△365,523	△425,735
当期変動額		
自己株式の取得	△60,212	△31,529
当期変動額合計	△60,212	△31,529
当期末残高	△425,735	△457,265
<b>株主資本合計</b>		
当期首残高	9,580,636	9,600,760
当期変動額		
剰余金の配当	△75,093	△74,832
当期純利益	155,429	760,001
自己株式の取得	△60,212	△31,529
当期変動額合計	20,123	653,639
当期末残高	9,600,760	10,254,399

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	23,479,938	36,103,113
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	12,623,175	20,979,037
当期変動額合計	12,623,175	20,979,037
当期末残高	36,103,113	57,082,150
為替換算調整勘定		
当期首残高	△27,126	—
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	27,126	—
当期変動額合計	27,126	—
当期末残高	—	—
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	23,452,811	36,103,113
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	12,650,302	20,979,037
当期変動額合計	12,650,302	20,979,037
当期末残高	36,103,113	57,082,150
少数株主持分		
当期首残高	11,971	—
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△11,971	—
当期変動額合計	△11,971	—
当期末残高	—	—
純資産合計		
当期首残高	33,045,419	45,703,874
当期変動額		
剰余金の配当	△75,093	△74,832
当期純利益	155,429	760,001
自己株式の取得	△60,212	△31,529
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	12,638,330	20,979,037
当期変動額合計	12,658,454	21,632,676
当期末残高	45,703,874	67,336,550

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	558,884	1,282,149
減価償却費	838,466	906,588
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	17,820	302
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△199,296	49,488
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20,533	14,635
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△114,123	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	44,934	20,586
関係会社株式売却損益 (△は益)	△47,856	—
受取利息及び受取配当金	△957,261	△1,084,320
支払利息	22,956	20,788
為替換算調整勘定取崩額	36,783	—
持分法による投資損益 (△は益)	△8,998	△1,125
売上債権の増減額 (△は増加)	39,328	186,784
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△229,909	44,555
仕入債務の増減額 (△は減少)	38,231	△141,376
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△24,756	99,315
その他	177,368	△62,774
小計	213,104	1,335,598
利息及び配当金の受取額	948,123	1,084,262
利息の支払額	△22,869	△20,721
法人税等の支払額	△172,196	△108,040
営業活動によるキャッシュ・フロー	966,162	2,291,098
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,200	△1,200
有価証券の取得による支出	△64,025	△175,060
有価証券の売却による収入	49,621	172,452
有形固定資産の取得による支出	△1,347,116	△218,672
有形固定資産の売却による収入	—	10,474
無形固定資産の取得による支出	△28,751	△12,163
投資有価証券の取得による支出	△11,806	△10,518
投資有価証券の売却による収入	—	7,546
貸付けによる支出	△76,200	△45,000
貸付金の回収による収入	—	51,200
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	16,819	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,462,658	△220,942
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	950,000	△1,550,000
長期借入金の返済による支出	△400,000	△400,000
配当金の支払額	△75,420	△74,894
自己株式の取得による支出	△60,212	△31,529
その他	△11,971	△10,678
財務活動によるキャッシュ・フロー	402,395	△2,067,102
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△94,100	3,053
現金及び現金同等物の期首残高	446,523	352,423
現金及び現金同等物の期末残高	352,423	355,476

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

セグメント情報

前連結会計年度（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

当社グループは、米菓事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自平成24年4月1日 至平成25年3月31日）

当社グループは、米菓事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)		当連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	
1株当たり純資産額	7,939円76銭	1株当たり純資産額	11,718円34銭
1株当たり当期純利益金額	26円99銭	1株当たり当期純利益金額	132円23銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	45,703,874	67,336,550
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
(うち少数株主持分(千円))	(—)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	45,703,874	67,336,550
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	5,756,331	5,746,251

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
当期純利益金額(千円)	155,429	760,001
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	155,429	760,001
期中平均株式数(株)	5,759,072	5,747,750

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### (1) 役員の変動

###### ① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

###### ② その他の役員の変動

・ 新任取締役候補

取締役 榎 大介

###### ③ 就任予定日

・ 平成25年6月25日予定

##### (2) その他

該当事項はありません。